



## 【発行】

偕行会リハビリテーション病院

地域医療連携室

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3892 FAX 0567-52-3907

## 『床ずれ』ってご存知ですか？



床ずれは「褥瘡（じょくそう）」とも呼ばれています。

身体の同じ部分に長い時間体重がかかり続けると、その部分の血の流れが悪くなり栄養が行き届かないため、皮膚や肉の細胞が死んでしまい簡単に傷が出来てしまいます。これが「床ずれ」です。床ずれはとても痛く、きちんと治療をしないと進行が早く、最初は消えない赤みから発生しますが、徐々に死んだ細胞が増え広がっていきます。悪臭が発生し傷が深い場合や大きい場合は手術が必要な場合もあります、また治るのに年単位になってしまうこともあります。

床ずれになりやすい人は、ご自分で寝返りがうてない人、栄養状態が悪い人、やせている人、麻痺がある人、車椅子に座る姿勢がわるい人などです。床ずれになりやすい人は病院にはたくさん入院しています。

しかし、病院として床ずれをつくらない（予防）、持ち込み床ずれを治療するといった目的で院内に「褥瘡対策委員会」といった委員会活動があります。医師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・看護師・介護士がそれぞれの立場から見た床ずれについて、予防・治療・生活の観点で話し合い、回診を行い委員会メンバーで病室を訪問し床ずれの状況を確認します。

床ずれは対策さえ適切であれば防げます。

床ずれに対する予防方法や治療方法は年々進化していて、最新の予防方法・治療方法が患者様に提供できるよう「褥瘡対策委員会」として日々自己研鑽に励んでいます。床ずれに関してご不明な点がございましたらスタッフに声をおかけください。



H22.8.20~21 千葉幕張にて  
日本褥瘡学術集会へ参加しました。



偕行会リハビリテーション病院  
2階病棟 課長 前野 利恵